

| 科目名 | 英語講読 I (英語と文化) English Reading I | | 担当教員 (研究室番号) | ドライデン いづみ (502) | | 教員への連絡方法 (メールアドレス) | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|-----------------|--------------------|----------|-----------------------|-------------|-----------|----------|----|------------|---|
| 履修 年次 | 1年次 前期 | 科目 区分 | 教養・基礎科目 | | 選択 区分 | 必修 | 単位数 (時間) | 1 (30) | 授業 形態 | 演習 | 科目等 履修生 | 可 |
| | オープンクラス | | | | | | | | | | | 可 |
| 科目 目的 | 英語の語彙力の増進を目指すとともに、正確に英文を読んで訳せる力を身につけることを目的とする。英語の文献を読みながら異文化理解を深めるだけでなく英語圏の人々の思考や話の論理展開を理解する能力を養う。 | | | | | | | | | | | |
| ディプロマ・ ポリシー (DP) | 主要なDP | C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) | | | | | | | | | | |
| | 関連する DP | A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) | | | | | | | | | | |
| 到達 目標 | 1. 英文テキストの内容理解とともに、多言語多文化共生社会における人間関係や文化について積極的に自らの考えやイメージを説明することができる。 2. 日常で使用する用語を考察し、グループ討議で発表することができる。 3. 国際社会における文化的タブーや習慣の違いについて例を挙げて述べ比較することができ、グローバルな視点から考えることができる。 | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 (基準) | 毎回の授業課題提出 (90%)、レポート課題 (10%) ※レポート課題については、ルーブリックを用いて評価する。 | | | | | | | | | | | |
| 再試験の有無と 基準等 | ・無：各授業課題、およびレポート課題によって評価するため、再試は不可能。 | | | | | | | | | | | |
| 教科書 | Doraemon no Dokodemo Nihongo [ドラえもののどこでも日本語] Yasu-Hiko Tohsaku et al. [當作靖彦、他] 著 Shogakukan ISBN:978-4-09-510134-7 | | | | | | | | | | | |
| 参考書等 | 授業中に適宜紹介する。 | | | | | | | | | | | |
| 学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待 | 基礎英語力 (聞く・読む・話す・書く力) やコミュニケーションに必要な英語力をバランスよく身に付けながら、多言語多文化共生社会においてどう行動すべきかをテキストの内容とともに考察する。また、チーム基盤型学習 (TBL: Team Based Learning) やSNA (ソーシャル・ネットワーク・アプローチ) を取り入れ授業を進めるので、チームのメンバーとして責任を持って積極的に自らの意見を発言し、グループ・ディスカッションや毎回の課題に取り組むこと。 | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 英文の読解力向上のため、多読を推奨する。課外学習として、図書館や担当教員研究室に設置の英語書籍 (レベル別も有) を読み、英語で感想文を記述・提出すると、エキストラ・ポイントとして成績評価に加算する (冊数制限無し)。詳細は1回目授業にて説明する。何回かの授業でネイティブの学外協力者の話を聴く場合もある。 | | | | | | | | | | | |
| 回 | 学習項目 | | | | | | | 主担当 教員 | 授業 方法 | | | |
| 1回 | イントロダクション | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 2回 | 第1章: 「ついに成田到着！」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 3回 | 第2章: 「日本の家」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 4回 | 第3章: 「地震? 台風? 大変だ~！」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 5回 | 第4章: 「学園祭・クラブ活動」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 6回 | 第5章: 「年末年始」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 7回 | 第6章: 「病気と健康」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 8回 | 第7章: 「生活」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 9回 | 第8章: 「メディアとテクノロジー」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 10回 | 第9章: 「将来」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 11回 | 第10章: 「旅行」 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 12回 | 文化の共通点・相違点 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 13回 | 世界の祝日・年中行事 | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |
| 14回 | 健康的な体づくり | | | | | | | ドライ デン | 講義 演習 | | | |

| | | | | |
|-----|-------------------|--|-----------|----------|
| 15回 | 日本と西洋の物語の登場人物を比べる | チーム・メンバーと協力し教科書p. 163の英文テキストの内容を学び、ディスカッションする。レポート課題とルーブリックについて説明する。 | ドライデ ン | 講義 演習 |
|-----|-------------------|--|-----------|----------|

学 習 課 題

1～15回事前課題：教科書の各章・項目の英文テキストを学習し、わからない部分を確認しておく。
1～15回事後課題：英文テキストから学んだことやチーム・メンバーとグループでディスカッションした内容を思い出し、自らの意見や考えをレポート用にまとめておく。尚、15回目及びレポート課題（配点100点）は、Teamsの「課題」に設定された期日までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組